

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

## I C Tを活用した教育の推進及び 情報活用能力の育成事業

事業の経過・背景・課題

国のG I G Aスクール構想に基づく1人1台端末の導入や教材・資料等を投影できる大型モニターを全ての普通教室に設置するなど、全小中学校において日常的にI C Tを活用した授業を行っている。

I C Tを使うことが目的ではなく、学習用具の1つとしてI C Tを効果的に活用し、児童生徒の関心や集中力を高め、より分かりやすく・工夫された授業展開が求められている。

また、すべての児童生徒が必要な資質・能力を身につけ、学びを深められるよう、発達段階や特性に応じた計画的な指導により個別最適で主体的・協働的な深い学びを実現する。

取組内容

交付実績額： — 千円 ※セット新規

(※) 本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により  
教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

- ・日常的にタブレット端末を活用した授業を行い、子どもたち1人1人が主体的に学び、確かな学力を身に付けるため、「タブレット用授業支援ソフト(ロイロノート・スクール)」を活用
- ・特別支援学級に在籍する児童生徒1人1人の特性や発達課題に合わせた「学習支援アプリ」を活用
- ・中学校に採点支援システムを導入し、成績分析を通して授業改善につなげる。

〔ロイロノート・スクールの主な機能〕

- ・オンラインで課題や宿題を提出・返却する
- ・複数人で同時に意見を共有・比較する
- ・1人1人の意見を集約し可視化する

〔学習支援アプリの主な機能〕

- ・指でなぞってひらがなやカタカナを覚える
- ・ゲーム感覚で算数を学ぶ
- ・キーボード入力や手書き入力機能を活用し、文字を書くことをサポート



事業の成果・今後の展望等

○「タブレット用授業支援ソフト(ロイロノート・スクール)」を活用

- ・教員と児童生徒の双方向のやり取りが生まれるとともに、児童生徒同士での協働学習が促進され、より学習効果の高い授業を実施することができた。
- ・文章や図表、データなどから情報を探し出す力、物事を多面的・多角的に見る力、論理的に考え説明する力などを育成することができた。
- ・各教科等における様々な学習活動を通してI C Tを効果的・効率的に活用し、情報を取得し、整理・比較して考えを形成する力を育成することができた。

○特別支援学級に在籍する児童生徒に「学習支援アプリ」を導入

- ・デジタル教材の活用により授業に工夫を加えることで、発達段階や特性に応じた指導を行うことができ、児童生徒1人1人にとって分かりやすい授業のユニバーサルデザイン化の推進を行った。

○中学校に採点支援システムを導入し、AIによる自動採点を行い、成績分析や観点別評価が即時に可能なため、生徒の理解度が可視化され、授業改善につながった。

○引き続き1人1台端末を活用し、より学習効果の高い授業を実施していく。

問い合わせ先

長岡京市教育委員会学校教育課 (075-955-9533)